【 57 】

氏名	北 川 堯 之
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1294 号
学位授与の日付	昭和57年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	**胃癌予後因子としての胃癌巣周囲のリンパ球浸潤**
論文審査委員	教授 寺本 滋　教授 小川勝士　教授 粟井通泰

学位論文内容の要旨

胃癌主腫瘍における lymphoid infiltration（LI）と免疫学的パラメーターと予後とを胃癌切除患者515例を対象に検討した。免疫学的パラメーターとしてリンパ球PHA幼若化率（幼若化率）とPPD皮膚反応とリンパ球数を用いた。更にLIと腫瘍長径や腫瘍の肉眼型等との関係も比較検討した。LIは515例中124例（24.1％）に認められ，LI（卅）例は33例（6.4％）であった。LIはstage Iで分化型に多く認められる傾向があり，Borrmann 4型にはあまりみられなかった。LI陽性群の方が累積5年生存率は高く，LI陽性群の幼若化率は44.4±12.5％で，LI陰性群の幼若化率38.3±15.5％より有意に高値を示した。stageが進行すると幼若化率は低下するがLI陽性群では低下しなかった。PPD反応およびリンパ球数はLIの有無と相関しなかった。主腫瘍におけるLIは幼若化率とよく相関し，担癌生体における細胞性免疫能の局所表現と考えられた。

論文審査の結果の要旨

本研究は胃癌に関する免疫学的研究であるが胃癌切除患者515例を対象として胃癌巣周囲のリンパ球浸潤と免疫学的パラメーターを検討した結果予後因子として重要な意味を有しリンパ球浸潤は担癌生体における細胞性免疫能の局所表現と考えられる結論を得たが此領域における価値ある業績と考えられる。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。